

平成23年度

# 自主汗学

じしゆかんがく



平成23年12月8日  
半田市立青山中学校  
第18号  
学校だより

## 勇気をもって前進しよう!

3年生は、進路選択という人生の節目のときを、目の前にしています。そのことを苦痛と思わずに、自分を試すチャンスだ、試練だと思いうようにして日々の生活を送っていればよいのですが…。ともすると、前向きに考えられず、他人に責任を転嫁して自分を楽にしようとしてしまいます。

しかし、これほど人として悲しいことはありません。なぜなら、人生は、自分の手で切り拓いていかなければならないからです。また、人生は、自分の行動や考えに責任をもち、自分を見つめる厳しいまなざしをもって生きていかなければならないからです。

想像してみてください。他の人にあれこれ言われて、自分の行動を決められることを…。実に苦しいことだと思いませんか？逆に、自分で選んだ道であるならば、どんな苦労も苦労と感ぜないで進めることができるとは思いませんか？たとえば、他人の荷物をもったときはとても重く感じるけれど、自分で選んだ荷物は多少重くてもそれほどには感ぜないことと同じです。

ぜひ、弱気になりそうな自分を奮い立たせ、勇気をもって苦難に立ち向かってほしいと思います。

こんなことばがあります。



為せば成る 為さねば成らぬ何事も

成らぬは人の為さぬなりけり

江戸時代、米沢藩（今の山形県）の藩主、上杉鷹山（※）さんの言った言葉です。意味は、「やろうと思えば何でもできます。できないのはやろうと思わないからです」。

また、この言葉を言った上杉鷹山は、次の言葉に励まされたそうです。

勇なるかな勇なるかな、

勇にあらずして何をもって行なわんや

意味は、「勇気です何事も勇気です。勇気がなくてどうして何かができるでしょうか」。

自分にできる範囲のことに、勇気をもって精一杯挑戦していきましょう！

ガンバレ、青中生！！

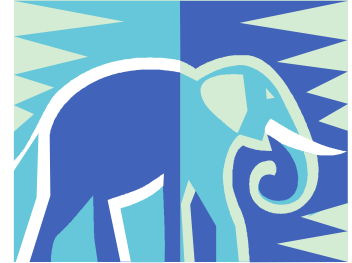
※上杉鷹山は、戦国時代に活躍した上杉謙信の子、上杉景勝から数えて9代目の米沢藩藩主。米沢藩の8代目に世継ぎ（男子）がおらず、娘婿の上杉鷹山が藩主となります。しかし、鷹山が直系ではないためになかなか家臣から応援を得られず、苦勞します。しかし、藩の財政は破綻寸前。どうしても財政再建しなければなりません。そうした中、先頭に立ち、質素儉約に努め、財政再建を成功させたということで有名な人物です。アメリカ合衆国35代大統領、ジョン・F・ケネディ氏が、尊敬する日本人として紹介したことで注目されるようになりました。



人権週間 (12月4日から12月10日まで) にそえて

# 認め合い、励まし合い、高め合おう

ぞうさん ぞうさん おはながながいのね  
そうよ かあさんもながいのよ



ほとんどの人が知っている「ぞうさん」という童謡です。  
この歌から、どんなことを思いうかべますか？象の子どもとおかあさんが、仲良く暮らしている情景を歌った歌だとの印象をもっている人が多いと思います。私もそうだとばかり思っていました。

しかし、この「ぞうさん」を作詞したまど・みちおさんによると、そうではないらしいのです。「そうではないのです。象の子が鼻が長いと、けなされている歌なのです。」というのが、この歌をつくったまどさんの説明です。

つまり、「ぞうさん、ぞうさん、おはながながいのね。」とは、親しみを込めた子象への呼びかけではなく、「へんな鼻、長くてみつももない鼻」と、けなした、いじめの詩だということです。

けれども、子象はそうけなされても、しょげたり、落ち込んだり、泣いたりしません。むしろ、明るく元気に、「そうよ、かあさんもながいのよ」と、ほめられたかのように「大好きなお母さんの鼻と同じように長いんだ、立派なんだぞ」といばって答えているわけです。

そこには、この歌を作ったまどさんの考えがあります。「象が、象に生まれたことを誇りに思い、素晴らしいと思っている」からだということです。象だけではありません。この世の中にいる草や木、虫、動物そして人間を含めて、生き物すべてが「自分が自分であること」を誇りとし、喜んでいるというのが、まどさんの自然に対する考え方なのだそうです。もちろん私たち人間にもあてはまることなのだそうです。

生き物すべてがそうですが、私たち人間もそれぞれに違いがあり、個性があるから意味があり、素晴らしいのです。一人一人、そして生き物すべてをみんな違うように創造した神様はさぞかし大変であったと思います。機械で大量生産すれば簡単であったらうに……とそう思います。

だから、個性や違いを大切にしなければなりません。自分を大切とするとともに、自分とは違う友達もまた同じように大切にしなければなりません。違うものたちが、その違いを生かして、認め合い、励まし合い、高め合うことが大切なのです。みんなが、心ゆくまで、違いを尊重し、違いを生かしてお互いに生きていくことが、心の真ん中に置かなければなりません。そのとき「共に生きる」ことの大切さ、友だちの心を深いところで理解できるようになるとと思います。

(参考 朝日新聞社説『ぞうさん』への贈り物 1998. 6. 1.)

## カゼやインフルエンザの予防に努めよう!!

かぜやインフルエンザは、ウイルスによる人から人にうつる感染症です。

- 咳やくしゃみでウイルスを含んだしぶきが 1～2m 飛び散り、かぜやインフルエンザが広がっていきます。
- インフルエンザの予防接種は感染を完全に予防するものではなく、感染したとき症状を軽くするものです。睡眠と栄養をとり、体の抵抗力を高めることも大切です。
- かぜやインフルエンザの拡大予防のためには「手洗い」や「うがい」を忘れず、人が集まる場所で咳やくしゃみをする際には「咳エチケット」を心がけることが大切です。



(参考 倉敷市保健所)